

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践 1 【福祉体験】	 成果 4年生の総合的な学習の時間で、車椅子や点字体験を行い、身体の不自由な方にとって街中には生活しにくい場所が多いことを知った。また、今年度は、親子学習会で盲導犬ユーザーの講話や親子アイマスク体験を行い、親子でも考えるよい機会となった。これらの福祉体験学習を通して、身体が不自由な方への共感的理解を深め、誰もが住みよい町作りの大切さに気付くことができた。 課題 福祉体験では、今年は社会福祉協議会に講師派遣依頼ができ、より深い学びにつながるものになった。人権コーナーで他学年にも伝わるように、写真や児童の感想を掲示して、情報を共有し、福祉への関心を高める必要があった。来年度も、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら親子で実施できるように計画したい。
2 実践 2 【人権集会】	 成果 今年度は、人権集会として、新しい内容で計画をした。人権メッセージの代表発表をしたり、保健委員会の児童がクイズを出して全員で参加したりして、児童が主体的に考える場を作ることができた。また、「勇気のお守り」の動画を見て、人権 SOS ミニレーターと関連して、紹介・配付できたことも良かった。人権週間とタイアップして、絵本の読み聞かせや「〇〇さん week」など事後指導にも力を入れた。人権集会で考え、学んだことを日常生活に生かすことができた。 課題 初めての試みで、計画やリハーサルなどに時間をかけて行った。動画の時間など来年度はもう少し短いものとし、児童が集中して取り組めるように内容も考えていきたい。また、今年度はオンライン配信で行ったが、来年度は体育館での実施を計画したい。